

令和7年9月21日

執行

箱根町議会議員選挙

選挙公報

箱根町選挙管理委員会

地域の皆様と 箱根の未来を考えていく

みなさんのご支援に支えられ、1期4年を務めてまいりました。箱根町をより知るとともに様々な課題、また町民の皆様の不安、悩みも多々あるという事も学びました。

これからも地域の皆様のお話を聞きながら住みよい未来に向け、また取組んでいきたいと思ひます。

『魅力ある箱根へ』

- ・自然に恵まれた箱根町を後世に継承します。
- ・文化の香り高い箱根町を育てていきます。

『子育てが安心な箱根へ』

- ・幼稚園保育園へ待たずに入所できる町にします。
- ・子供が安心して心豊かに育つ町にします。

『災害に強い箱根へ』

- ・コミュニティの輪を活性化し助け合いの箱根町にします。

略歴 昭和21年東京生まれ。5歳の時、仙石原に移住し箱根で育つ。

日本舞踊名取試験合格(名取名花柳師範校)。

(有)サトー設備 取締役会長、箱根町議会議員(第1期)

趣味 読書、日本舞踊、花いじり 好きな言葉 一期一会 貴客



さとう ちず子

箱根を もっと強く

「生活しやすい」暮らしができるように

- ・高齢化の進む中、不自由を感じることなく生活できるように体制づくりを推進します。
- ・生活の安心第一を目指します。
- ・独居世帯や高齢層への日常生活支援安定のための努力をします。
- ・公共交通機関の地元住民割引制度の拡大化推進と手軽に購入・利用できるように推進します。

「観光の発展」が更に進むように

- ・観光資源の再発掘とそれらを生かすことに努めます。
- ・優しいデジタル化の推進に努めます。
- ・官民の協力体制の強化を推進します。
- ・地域間の調整をさらに進めます。

「安全・安心な」暮らしができるように

- ・地球温暖化による風水害、火災、地震等の拡大発生を想定し、自衛隊や消防ほか諸団体が連携を図り避難施設やライフラインの確保をスピード感をもって図れるようにします。
- ・避難施設には安心、快適を進めます。また、高齢者が安心して避難できる支援体制の充実に努めます。



かわぐちのあき

川口 延明

皆さまの代弁者 山田しげのり 3つのお約束!!

① 教育の充実を行います!!

教育施設全てにエアコンを設置、体育館も快適に。給食をもっとおいしく、安全に。子どもたちの笑顔と未来を守ります!!

② 観光振興を行います!!

箱根の文化・自然・心を国内外にPR! 宣伝部長としてその魅力を広げ、未来へつなげていきます。

③ 伝統文化の継承を行います!!

1000年以上続く文化と心を次代へつなぎ、箱根の風土を未来へ守ります。皆様とともに輝く新しい箱根へ力強く歩み出します!!



山田しげのり

53歳

箱根町独自の「5つの緊急提案」 物価高騰対策

- ①高齢者・一人親・障がい者世帯の電気・ガス代・ガソリン代補助
- ②中小事業者の電気代補助
- ③高校生等の通学費の保護者負担1万円→0に
- ④国保料の引き下げ
- ⑤高齢者世帯のエアコン設置、買い替え補助

みなさんと力をあわせ 実現へと取り組みます

- 高齢者の敬老バス、タクシー乗車半額補助制度
- 高齢者の補聴器購入助成
- 介護保険料・利用料減免制度
- シカ、イノシシ、サル対策
- 防災・減災対策と避難所の充実
- 固定資産税の超過課税の廃止
- 町観光施設の町民利用の無料化
- 住環境と自然景観を損なう大規模開発ストップを
- 整理員の配置など渋滞対策
- オーバートーリズム対策

- 消費税減税・廃止実現へ全力
- 差別・分断を許さない多文化・共生の箱根町を

HP



略歴 箱根町議会議員10期。現在、総務企画観光常任委員。趣味は料理研究、ハイキング。家族は夫、一男一女。宮城野在住。



やまだ かずえ
山田 和江
日本共産党

笑顔で! 町のみんな一人ひとりが 元気になるような 箱根町づくりを目指します

住みやすい町づくり

- 高齢者の方々が安心して暮らせる様、地域との連携を図ります
- 子育て世代への支援を強化
- 少子化・人口減少・空き家対策の強化

観光施策 世界の箱根を守りましょう

- 豊かな自然を乱開発から守り、地域との共存共栄を図ります
- 広葉樹林化を推進します
- 安全なハイキングコースの整備
- 国内旅客誘客の強化
- インバウンド受入れに伴う環境問題整備の推進

防災・減災施策

- 自助=自分の手でできることから
- 共助=地域で共に助け合う
- 公助=町から県、そして国へ
- 災害時の官民一体連携を強化
- 防災だけでなく減災体制の強化

健康推進

- 町民一人ひとりの医療・介護の充実化
- 健康スポーツの推進
- 日常運動習慣に取り組み健康で生き生き生活を!

教育施策

- 地域と学校との共同協働を図ります
- 時代に応じた新たな教育の推進
- 少子化に伴う手厚いサポート



勝俣 けんご
61歳

勝俣ようじからの5つの提言

1 宿泊税の導入

現在の町の人口約1万1千人に対して、年間2千万人の観光客が訪れるために、ごみ処理、消防救急、下水道などを含めた、観光客を受け入れるための経費はかなりの金額となっています。さらに、それらの経費は地方交付税交付金の積算根拠の対象外となるため、町は不交付団体となっており、財政状況が大変厳しい状況にもかかわらず、国からの交付金を受けられない状況にあります。

2 公共交通機関であるバス料金の補助

町民の方々の移動手段であり、生活手段となっている公共交通機関のバスは、町民にとって非常に大切なものであります。しかしながら、その料金は非常に高額な料金となっています。この料金に対しては、観光客が利用するのは違い、町民が利用するバス料金に対する補助について、引き続き訴えてまいります。

3 企業における研究開発部署の誘致 (観光の町とともに、企業の研究・開発の町を目指すもの)

箱根町は、多くの観光客が訪れる日本有数の温泉観光地であります。しかしながら現在の観光産業だけの産業構造では、定住人口の減少、経済の流出などを食い止めることが困難な状況にあります。そこで「定住施策」「移住施策」の一環として、箱根町の自然豊かで静かな環境、そして東京にも近いという絶好の環境をいかした、この誘致を提言していきます。

4 一貫教育の私立学校等の誘致 (観光の町とともに、教育の町を目指すもの)

箱根町の自然豊かで静かな環境は、勉学に動かしむるには絶好の環境であり、町の観光産業とともに、町の新しい目玉となり得ることから、特色ある私立の一貫校や国際観光地の地の利を活かした、インターナショナルスクールの誘致を提言していきます。

5 箱根町内限定で使える「地域通貨」の導入

箱根町の大きな課題となっている「流出の少ない経済をつつていくか」に対しては「地域通貨」の導入が有効であります。今後においても、引き続き提言してまいります。



勝俣 ようじ
63歳

熱き思いを 実行へ!

1. 安心・安全な環境づくり
2. 少子化を含め人口定着
3. 祝日の放課後児童預かり実行
4. 高齢者対策の充実
5. 足柄幹線林道の県道昇格
6. SDG s 遵守並びに啓発
7. 枯れ木対策並びに樹種転換
8. 再生可能エネルギー研究
9. 地域コミュニケーションの醸成



いなば 親太郎
しんたろう
無所属
64歳

住民本位の観光立町へ

「箱根町」持続のために

- ・災害や社会情勢の変化に強い町へ
- ・オーバートーリズムによる住民生活への影響を軽減
- ・人口規模を超えるゴミ排出に対して 応分負担を
- ・人口減少社会に対応した各施設の再配置
- ・外国人労働者に対応する共生社会の実現
- ・公共交通の在り方に住民の意見を反映できる仕組みづくり

現在の課題と今後の歳入歳出から、少なくとも以上の施策に着手する必要があります。また、これらは自治体の合併や併合で解決できるものではありません。

自治体運営の基礎は住民です

生活インフラの整備は、そこに住民がいるから行われます。国や県、区市町村の各施策も住民を基本に事業化されます。故に住民に一番近い地方自治体は、住民生活の安定と向上を最大の使命として運営されるべきです。

住民と事業者が共に安定と向上を

図れば「箱根町」は生まれ変わります 住民生活の安定と向上のためには、各事業者の協力が不可欠です。町の施策は住民本位でありつつ、各事業者が正当な利益を得られるための環境づくりと、町政に携わる責任は極めて重く大きいと言えます。

まるこ英人は 様々な課題・問題に 取り組むべく 勉強を続けています。



無所属
まるこ英人
ひでと
1975年生まれ
50歳

箱根の明るい 未来を創る

【地域の声を行政に!】

皆様のご支援に支えられ3期目に挑戦します。「住みやすい観光の街・箱根の明るい未来を創る」ため、経験と実績を基に信頼に應えられる議会人としての責任を果たしてまいります。

●安心して暮らせる街づくり

- ・災害に強く安心して暮らせる環境づくり
- ・民泊や集合住宅の廃棄物他の対策

●観光地の更なる活性化

- ・町立観光施設の見直し等 ・新たな観光スポットの整備 ・観光産業活性化のためのデジタル化 ・オーバートーリズム対策 ・宿泊税の適正な制度設計

●行政効率化・議会改革

- ・無駄のない行政運営・親しみやすい議会

【プロフィール】

- 仙石原小・中卒、相洋高校卒 帝京大学卒
- (有)金時山荘取締役、箱根仙石原神楽保存会事務局長、仙石原諏訪神社氏子総代、箱根仙石原温泉旅館ホテル組合監査役



勝俣 やすひこ

令和7年9月21日 執行		箱根町議会議員選挙 選挙公報		箱根町選挙管理委員会	
箱根を愛する気持ちは 誰にも負けない お約束します 元気いっぱいのまち 地域医療と救急医療の充実 「仮称・温泉地域診療所」の 開院に全力で取り組みます 保育環境の充実と教育力の向上 安心できるコミュニティの推進 住みやすいまち 防災・減災対策の強化 年配の方々へ移動手段の支援 迷惑民泊への対応強化 美しいまち 空き家対策の推進 自然環境の維持と里山づくり 効果的な有害鳥獣対策 略歴 昭和33年生れ 駒澤大学卒業 障がい児施設ケースワーカー 箱根町議員6期 33.34代議長 現在 常泉寺住職 無所属 折橋なおみち		「安心して 暮らせる町に」 先人から受け継がれている素晴らしい 「箱根力」を活かし、住民、自治会、行政、 議会の協働により、「活力ある箱根」を 議員有志と共に「住民目線」で創って 参ります。 住民目線の行政 観光事業促進 議員定数の削減 皆さまの お力になります。 ○湯本生まれ ○一級建築士 ○日本大学卒業 ○箱根町議会至誠会会長 ○元箱根町議会議長 おきひろゆき 沖津弘幸		ごあいさつ 皆様のご支援に支えられ、5期20年、 感謝の思いで、毎回の議会質問や町民相談 に全力で取り組んでまいりました。 これからも、女性として、母親として、生活 者の目線で、今までの経験を活かし、皆さま のお役に立てるよう頑張ってます。 *お約束します* 医療・福祉の向上 ★赤ちゃんから高齢者まで安心できる福祉政策 安全・安心を目指して ★巨大地震等に備え、災害に強いまちづくり 国際観光地の推進 ★観光客の皆さまが、また訪れたいと思える まちづくりを推進 ★木のぬくもりあふれる伝統工芸品の普及 *実現しました* *带状疱疹ワクチン予防接種費用の一部助成 *高等学校等の通学費補助制度の拡充 *防災行政無線の多言語化(58ヶ国語に対応) *町内35ヶ所に土のうステーションを設置 *出張期日前投票所の導入 【プロフィール】 ◆1965年生まれ 59歳 ◆箱根町議会議員(現5期) ◆元仙石原小学校PTA副会長 ◆仙石原女性会 子どもや高齢者が安心して暮らせる箱根町に!! 公明党 むらの 村野ゆきこ	
		町民の声を、まちづくりの原動力に。 町民の声に耳を傾け、動いてきた4年間 「観光の町」として知られる箱根。 しかし、町民の日常には買い物や移動 医療の不便さ、少子高齢化の悩みがあります。 私はそうした“暮らしの声”に寄り添い、 町議会で具体的な提案を続けてきました。 □ 高齢者・子育て世代の移動支援 移動スーパーの拡充や送迎支援の制度化を 訴え、地域の声を行政につなげました。 □ 町民参加のまちづくり ごみ出しルールや公共施設の見直しで町民と の対話を重視し、直接話を聞きました。 □ 観光税や新たな財源提案 観光に依存しすぎない、地域資源を活かした 農業・水産業の振興などを提案しました。 町民の立場で発言し行動してきました。 今後は「暮らしの声を、まちづくりに！」 住んでもらえる町づくりを目指して、 若い世代が安心して暮らせる住環境づくり、 高齢者が住み慣れた地域で安心して過ごせる 支援の充実に取り組んでまいります。 小さな声が届く町政へ。 町民の声を大切にしていきます 無所属 鈴木みき		今こそ、箱根町の 人口減少を阻止！ 4年間で有権者数が1,000人減！ 議員定数が12人になり1人でも 条例案が提出可能！ 熱血魂の45歳が全力で実行！ 【地元主義だからこそ 実現可能な2つの政策】 ①箱根町の魅力をより発信して経済的成長を促す！ 産学官、三位一体の取り組みで、民間企業の投資を呼び込み、 箱根町の発信力を何倍にも増幅！ ②地域の子育て支援にて子育て先進町 “箱根町”の実現を！ 全国一の「子育て先進町」を目指して、地元民が都市部に 流れるのを防止し、地域全体で子供を育てる魅力的な環境で 現役世代を積極的に誘致！ -----プロフィール----- 昭和54年12月18日東京都に生まれる。現在45歳。 高校を卒業後、サラリーマンを10年程勤めた中で、営業職や職人の経験を積み、自ら 建設業の会社を立ち上げ現在に至る。 慈善活動にも従事し、地域活性化の建設ボランティア団体理事を3年程就任。 建設組合では関東支部支部長に任命される。 座右の銘：万象我師 好きな言葉：死ぬ事以外かすり傷 飯田かずゆき 無所属 45歳	